

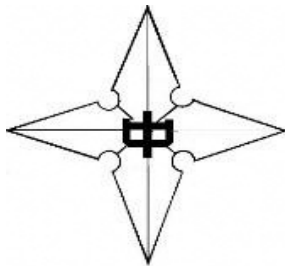
校外教育

研究紀要



学校教育目標

「日に新た 心豊かに たくましく」



希望を南十字につなぎ、
未来への煌めきをもとう！

研究主題

地域についての学びを起点に、
未来への希望と想いを抱く生徒の育成

さいたま市立南浦和中学校

埼玉県さいたま市南区辻6-1-33

TEL 048-863-0753

～ 藍青（らんせい）学年の目指す3年間 ～

学年	段階	イメージ	合言葉	呼びかけ	具体的な取り組み
1	準備する	取り掛かる	チャレンジ!	新しい自分の創造	挨拶・思いやり・挑戦
2	発展させる	固める	モディファイ!	より自分を練磨	挨拶・思いやり・誠実
3	まとめる	仕上げる	スタンド・アローン!	自分の力で未来を拓く	挨拶・努力・感謝

<本校の現状と実態>

- ・さいたま市南区の都市部と郊外の中間に位置し、周囲の特色ある地域に挟まれ、どちらかという地域的な特徴や帰属意識をもち難い、新興住宅地の多い辻地区に立地
- ・学習に対する保護者の意識は高い
- ・自分の考えを主張することや、お互いの意見を伝え合い、考えを深めることが苦手な生徒が多い
- ・思いやりの心を持ち、相手の気持ちを忖度できる生徒が、まだまだ少ない

・正しい自己判断にもとづき、主体的に進路を選択し、未来を切り拓こうとするたくましさ欠缺る生徒が多い⇒どんどん校外に出て、様々な体験を通じて学習し、たくましさを身に付けたい

『藍青』とは・・・
青は藍より出でて、藍より青し
氷は水これをなして、水より寒し

3年間の学年テーマ＝藍青（らんせい）

らんせい 『藍青学年』 3年間の計画

1年次

地域学習（4月～6月）



キャリア教育体験学習

（6月～3月）

「あんとれすくーる」



外環道清掃（11月）

校外学習（1月）



「フジテレビ番組制作体験」

2年次

未来くるワーク（7月）



広島平和新聞作成（10月）

高校出前授業（12月）



館岩自然の教室（2月）

3年次

広島修学旅行（6月）

国際交流体験（12月）

進路実現への取り組み（通年）

校外学習での体験や、地域の人々との交流を取組みの柱とし、3年間の学年経営の骨格として
いる

取組みの中心となる行事等

総合的な学習の時間等

<日常生活の中での視点>

- ・集団行動が、スムーズに行える⇒すべてにおいて5分前行動・無言移動・集団としての規律の尊重意識を持つ（個人としての規律意識が基盤）
- ・話をしっかり聴くことができる（個人・集団）⇒聞く姿勢（視線、態度、メモ取り等）を身に付ける
※さいたま市『潤いの時間』『人間関係プログラム』学習の成果を反映させる
- ・学びから得た重要なポイントを実践に移せる⇒良いところ・良いものをすぐに取り入れることができる

<キャリア教育の視点>

自分を知る 周囲の大人から学ぶ 自分の未来について考える 卒業後について考える 上級学校について深く知る

卒業後の未来を実現する意欲を強くもつ 合わせて、「地域に生きる自分」「地域に貢献していく自分」の意識を常に忘れない心をもつ

<平和教育の視点>

地域の成り立ちと戦争との関わりについて学ぶ

広く県内外の戦時中のようなすについて学ぶ 特に、広島・長崎については深く理解を進める

広島で何を学ぶか、何を学んだのかについてまとめ、将来の世界や日本の在り方について、自分なりのビジョンを形成する
「変化の激しい現代社会の中で、自分の思考の基礎となるもの、自分の人生の糧となるような意識をもつ努力を始める」

校外教育を通じての学びの実例

1年次「あんとれすくーる（さいたま市早期起業家教育）」

目的 生徒に望ましい勤労観・職業観をはぐくむために、キャリア教育の充実を目指してさいたま市が実施。毎年、小中合わせて7校程度が参加。平成29年度に本校が初参加。

内容 起業家教育「あんとれすくーる」は、社会のしくみや経済への知識・理解を深めることを目指して、生徒がチーム（会社）をつくり、商品開発、販売、決算を体験する。社会で活躍するための、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの大きな柱となる力を育成する。

本校の取り組み 本校の学区地域である、いわゆる「六辻地区」にかかわる商品の開発に生徒たちは取組んだ。地域の成り立ちや歴史、地理的条件や抱える課題などについて深く学び、知識や理解、興味をもつことから学習を開始した。

学習の特徴 多くの地域の方々からお話やアドバイスをいただいた。例：地域の元自治会長長澤さんと中村さんからの地域の歴史や昔の様子などの講話、地域の著名なチーズケーキ店「ダンテ」の國武社長から、「この地域の特色を生かしながらの販売活動で心がけていること」の講話、働くことや努力をすることの大切さについて、地域で開業されている世界大会入賞パティシエ朝田さんからの講話、開発した商品に対する課題の指摘やアドバイスを地元の会社経営者の方々からいただくなど。

成果発表会 開発した商品を発注し、地域の「六辻公民館」のご協力を得て、成果発表会（開発商品販売会）を開催。



これまでの成果と課題

< 成果 >

- 必要に応じて、話を聴く姿勢（傾聴する、メモをとるなど）を保つことができるようになった。
- 物事に対して真剣に取り組む意識が高まり、定着する様子が見られた。
- 「あんとれすくーる」成果発表会では、殻を破り積極的に販売活動をおこなうことができた。

< 課題 >

- コミュニケーション力にはまだまだ課題が残り、生徒相互や教員との意思疎通に苦慮する場面もある。